

調布市長 長友貴樹 殿

調布市議会自由民主党創政会
幹事長 渡辺 進二郎

平成 29 年度一般会計補正予算(第 5 号) 予算執行にあたっての再要望

今般、2 月 20 日付にて都市整備部街づくり事業課より、「平成 28 年度補正予算後 樹木移植等に向けた対応」の表、並びに「調布駅前広場の既存樹木の移植等について」の文書を受領した。上記文書によると 2 月 22 日より順次、駅前広場の既存樹木の移植・伐採等の作業に着手するとある。

調布市議会自由民主党創政会では、平成 28 年市議会第 1 回定例会の一般会計補正予算(第 5 号)、さらには平成 29 年市議会第 4 回定例会の一般会計補正予算(第 4 号)の採決にあたり、附帯したそれぞれの意見に対しての対応結果の報告を求めてきたところであるが、移植・伐採の 2 日前に矢継ぎ早に報告を受けることは誠に遺憾であり、市民への周知は前日の 21 日とまさに軽慮浅謀と言わざるをえず、移植・伐採工事の順延を求めるところである。

また、平成 29 年市議会第 4 回定例会において附帯した意見に対する対応の不備について抗議すると共に、下記のような正式な対応の文章を求める。

記

- ①市長自ら市民との対話を行うこと。周知に当たっては、市報に掲載すること。
→ 平成 30 年 1 月 16 日の「第 2 回調布駅前広場整備に関する説明会」における、市長の答弁に対する意見は分かれるところではあるが、30 日の「調布駅前広場の樹木移植等工事に関する説明会」に市長が参加しなかったことはあまりにも市民軽視である。
- ②補助金の確保は必須条件とし、最大限の確保に努めること。仮に不可能な場合は、事業の見直しをすること。
→ 現在までの経過・状況等の詳細な説明が無いことは看過できない。早急な対応を求める。
- ③市政情報に関しては、原則的に市民及び議会に情報共有を図ること。
→ 移植・伐採工事の発注、工事開始日の決定等、議会に説明がなされなかったことは、議会軽視であり行政の混乱に他ならない。
- ④現状の囲い（駅前広場のフェンス）は、工事に支障のない範囲で撤去する。
- ⑤設計に当たっては、調布駅地下通路等との連絡通路を考慮に入れること。
→ 現在までの経過・状況等の詳細な説明が無いことは看過できない。早急な対応を求める。

以上